

地域景観彩る活動に汗

平田建設 公園内で桜植樹

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は20日、土幌町内の遊水公園でサクラの木10本の植樹を行った「写真」。役員ら約50人が参加。まちをきれいなサクラで彩るため、一丸となって作業に汗を流した。

同社は、町内に18区ある

行政区全てにサクラを植えようと、毎年活動を展開。ことしは13回目を迎えた。今回は、町との相談の上で、遊水公園においてサクラの木10本を植樹。今回植



えた分を含めると、合計は220本に上る。作業に当たっては、スコップで土を掘ったあと苗木を植え、支柱を設置して固定。工事によって伐採されたかつてのサクラと同じように、地域の景観に彩りを添えられるようお願いを込めながら作業に汗を流した。

長谷川社長は「きょう植える木はすぐに花を咲かせるわけではないが、何年かしたら一斉に花が咲き出す。今の子どもたちが大きくなったら、平田建設が植えたサクラだなど思ってもらえるよう、心を込めて植樹していきたい」と話した。